



# Happy New Year



いよいよ労働者協同組合法施行年を迎え、年初より大きな期待に胸を膨らませているところです。一方で、法施行に伴い次々と新しいワーカーズコープが誕生するとも言え、そう期待どおりにはいかないだろうと思っています。

この間、ワーカーズコープに関心を持つ方々の話を聞く機会が増えていますが、労協法人設立への思いとともに、協同労働という働き方への共感の高まりが伝わってきます。法制定の意義は、多くの労協法人が設立されることだけではなく、協同労働のコンセプトが社会に浸透していくことにあると思います。

競争原理の下、格差・貧困が拡大し、孤立・分断が進む社会において、協同することの価値に気づく人たちも増えています。協同労働への期待が大きくなるのも頷けますが、協同労働に伴う「苦労」についても知ってもらいたいと思います。お互いの価値観を受け止め合い、どうすれば民主的に組織の意思決定を導き出すことができるのか、そのことは協同労働に常について回る「面倒」なことです。

実は、この「苦労」や「面倒」にこそ協同労働の価値があり、それを避けるのではなく楽しむことが鍵ではないかと思っています。協同総研30周年総括集会(2/26開催)は、実は奥の深い協同労働の価値について一緒に考える場になりますので、是非ご参加ください。

専務理事 利根川 徳



2020年12月に労協法が制定されたことで、2021年は協同労働が注目され、労働者協同組合を設立したい、協同労働で働き方という方々と多く出会った一年でした。

2021年、私にとっては「渡」の1年となりました。労協法が制定から施行へと準備期間の年となり、協同総研も開設30年となり法制定時代を迎えるにあたり、協同する社会をデザインするために大きく役割を広げてきた「過渡期」の年でした。また居住地三鷹市でまちづくり総合研究所のまちづくり研究員となり、三鷹で多くの人との出会いが生まれ、人と人をつなぎ・「渡す」役割もしました。また仕事も「綱渡り」(笑)のように、協同の発見誌の作成、『協同ではたらくガイドブック(実践編)』の完成、論文・報告寄稿、講座・研究会出講、社会福祉推進事業、ネットワークづくりなど、情報を生産し続けた年になりました。

2022年は、10月1日に労協法施行、協同総研が31年目を迎え、厄年が終わり健康でいたいと改めて願う意味も込めて、「越」を目指したいです。新たな時代に入るなかで、人も組織も時間も地域も「越境」した先に、新たな自分、新たな社会、新たな労働者協同組合、新たな未来への希望を持てるよう、フルマラソンを完走しきれるような気持ちでがんばります。

事務局長 相良 孝雄



「エコーチェンバー現象」という言葉を聞いたことはあるでしょうか。SNS上に自らの意見を発信した際に、自分と似た考えや意見ばかりが集約され、意見の増幅や強化が起こることを指しており、社会の分断を生み出す要因のひとつとして考えられています。

常任理事の走井先生は共済と保険(2021.6)に「異質な他者と同じ課題に向き合う協同の営みを、単一のものを志向しようとする私たち自身の思考へのカウンター(対抗)として保持し続けること」と書かれました。

ひとり残らず誰もが直面している気候危機とコロナパンデミック。地球規模というスケールの大きな問題を前に、できるかぎり多くの人々が知恵を寄せ合い連携していくことが求められています。多様な人との連携は簡単ではありませんが、その難しさに挑戦する協同労働の実践が、法施行を契機に日本全国に広がるよう、丁寧に取り組んでいきたいと思えます。

“There is a crack a crack in everything. That's how the light gets in. 不完全であることを受け入れよう 光はそこからさしこむのですから” - Leonard Cohen

事務局 荒井 絵理菜



ここには毎月たくさんの雑誌が届きます。所報交換をしているものや、購入しているものなどさまざまです。どの雑誌も、今の時代の課題を反映した特集テーマを組んでいるのでとても読み応えがあります。

最近、総合企画部の方が学校給食について関心をもっておられていたので、関連記事が掲載してある雑誌があることを思い出してお貸ししました。参考にしていただけたようで、話題が広がりました。気になる記事にアクセスできると、より一層関心が深まるように思います。

今年は、協同の発見のバックナンバーをホームページから閲覧できる会員サービスを始めたいと考え準備を進めています。これまでの調査・研究の蓄積を十分に活用いただけるように取り組み、新たな飛躍につなげたいと思います。

事務局 岩城 由紀子



10月1日は、労働者協同組合法の施行日です。既存の協同組合と連携して、劣化した社会のレジリエンスに貢献する市民主体の総合的協同組合制度元年に。



	企業組合	NPO法人	労働者協同組合
出資	○	×	○
設立	認可主義	認証主義	準則主義

特任顧問 岡安 喜三郎



Nil sine magno vita labore dat mortalibus.

人生は、大いなる艱難を伴わずして(厳しい労働なしに)人間に何物も与えない。

顧問 島村 博